

# NEWS RELEASE



セブン&アイ HLDGS.

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

2009年2月19日

## —横浜市との「地域活性化包括連携協定」締結記念 第1弾— 『見つけよう！横浜 横濱開港150周年フェア』開催！ ～2/20(金)より横浜市内のセブン-イレブンにて実施～

株式会社セブン-イレブン・ジャパンは、横浜市との「地域活性化包括連携協定」締結にあたり、2009年2月20日（金）～3月5日（木）までの14日間、横浜市内のセブン-イレブン全店舗（1月末現在269店）にて、『見つけよう！横浜 横濱開港150周年フェア』を実施いたします。

この催しでは、横浜開港150周年を記念し、横浜発祥と言われている「牛鍋」をお弁当にして盛付けた“横浜発祥「牛鍋」のお弁当（黒毛和牛使用）”（税込698円）を発売、店内にポスター等を設置して、横浜発祥のメニューをお客様に訴求いたします。なお、グループのイトーヨーカドー横浜市内全店舗（1月末現在14店舗）においても販売いたします。

また期間中、セブン-イレブン店舗では、“横浜発祥「牛鍋」のお弁当（黒毛和牛使用）”と、対象のホットドリンク（缶コーヒーを除く）をセットでお買い上げいただくと、50円引きとなります。

今後もセブン-イレブンではこの包括協定を機に、横浜にちなんだ商品や、安全・安心で美味しい商品の開発等、より一層地域の活性化に努めてまいります。

### “横浜発祥「牛鍋」のお弁当（黒毛和牛使用）”（税込698円）



#### 《商品特徴》

- ・国産の黒毛和牛を使用
- ・コクのある五分たまり醤油を使用し、牛肉の脂身の旨さを引き立たせた味付け
- ・長ねぎ、ごぼう、しいたけ、白滝、豆腐、煮卵を盛り付け

#### ＜牛鍋のルーツ＞

横浜の鍋と言えば、やはり牛鍋。この牛鍋が生まれたのは、文明開化と騒がれた明治時代。横浜港が諸外国に解放され、牛肉を食べるという習慣がなかった日本に、西洋の文化が持ち込まれました。外国人居留地（現在の山手周辺）の近くには、外国人の真似をして牛肉を提供するお店が登場。はじめは串にさした牛肉を焼くだけでしたが、後に日本人の口に合うように考案されたのが牛鍋。すき焼きの元祖とも言われています。

以上